

答え合わせ・解説

問1	答え 1 落ちる	「猿も木から落ちる」の続きは「落ちる」です。意味は「その道に優れた名人でも、時には失敗することがある」です。
問2	答え 4 人から何度も聞くよりも、一度自分の目で見 るほうが確かである	「百聞は一見にしかず」は「人から何度も聞くよりも、一度自分の目で見ることが確かである」という意味です。
問3	答え 2 棒に当たる	「犬も歩けば棒に当たる」の続きは「棒に当たる」です。意味は「何かをしようと行動すれば、思わぬ幸運や災難に出会うことがある」です。
問4	答え 4 災い	「口は災いの元」の「災い」の部分が入ります。意味は「うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある」です。
問5	答え 2 明るい月夜に提灯を下げてても無駄であるよ うに、不必要なことのたとえ	「月夜に提灯」は「明るい月夜に提灯を下げてても無駄であるように、不必要なことのたとえ」という意味です。
問6	答え 1 似た者同士は自然と集まりやすい	「類は友を呼ぶ」は「似た者同士は自然と集まりやすい」という意味です。
問7	答え 1 月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこ と	「光陰矢のごとし」は「月日が過ぎるのは矢のように非常に早いこと」という意味です。
問8	答え 3 どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から 始まるということ	「千里の道も一歩から」は「どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ」という意味です。
問9	答え 4 急ぐときほど、かえって遠回りのように見え ても確実な方法をとるほうが結果的に早い	「急がば回れ」は「急ぐときほど、かえって遠回りのように見えても確実な方法をとるほうが結果的に早い」という意味です。
問10	答え 3 欲を出して同時に二つのことをしようとす ると、どちらも失敗する	「二兎を追う者は一兎をも得ず」は「欲を出して同時に二つのことをしようとすると、どちらも失敗する」という意味です。
問11	答え 2 水	「魚心あれば水心」の「水」の部分が入ります。意味は「相手が好意を示せば、こちらも好意で応じる気持ちになるということ」です。
問12	答え 3 まだ手に入っていない利益をあてにして計 画を立てること	「捕らぬ狸の皮算用」は「まだ手に入っていない利益をあてにして計画を立てること」という意味です。
問13	答え 2 地	「雨降って地固まる」の「地」の部分が入ります。意味は「揉め事のあと、かえって前よりも良い状態になること」です。
問14	答え 2 三文の徳	「早起きは三文の徳」の続きは「三文の徳」です。意味は「朝早く起きると、健康によかったり少しだけ良いことがあるということ」です。
問15	答え 2 危険を冒さなければ、大きな成果は得られ ない	「虎穴に入らずんば虎子を得ず」は「危険を冒さなければ、大きな成果は得られない」という意味です。
問16	答え 1 自分にとってためになる忠告は、聞くのが つらいものだ	「良薬は口に苦し」は「自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ」という意味です。
問17	答え 4 どんなに小さく弱い者でも、それ相応の意 地や考えがあるから侮ってはいけない	「一寸の虫にも五分の魂」は「どんなに小さく弱い者でも、それ相応の意地や考えがあるから侮ってはいけない」という意味です。